

ヨコグラヒメワラビ		<i>Thelypteris hattorii</i> (H.Itô) Tagawa	絶滅危惧 I 類
			ヒメシダ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に極めて少なく存続の基盤が脆弱である。		写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	夏緑性のシダ植物。根茎は這い葉は2回羽状複生以上で最下羽片が一番大きく柄がある。葉柄や中軸の全面に毛があるが、県内のものは典型品が少なく葉柄の下部にはほとんど毛が見られない。		
生態的特徴	山地のやや明るい場所に生育する。		
分布状況	岐阜県では美濃地方に見られる。		
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化が主要因と思われる。		
保全対策	生育地の間伐等適度な管理。林道等の整備の際には配慮が必要である。		
特記事項			
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 213. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1983. 日本のシダ植物図鑑. 3. P. 578-581. 東京大学出版会. 東京.		

文責: 荻山恒弘